

★情報システムに関心ある全ての人々に告ぐ！

ISSJ

新情報システム学序説

Introduction to New Information Systems

— 人間中心の情報システムを目指して！ —



一般社団法人 情報システム学会
新情報システム学体系調査研究委員会 編

“人間と社会の視点から
情報システムの本質的な
あり方を解明！”

“サイエンスとエンジニアリングが
融合した「情報システム学」入門
の決定版”、ついに発刊！

★ 「人間中心の情報システム」を明らかにする

- (1) 情報と情報システムの基本的な概念、本質的な意味を明らかにする
- (2) 社会、人間に影響を及ぼす情報システムについて本質的な課題と対応の考え方を明確にする
- (3) 情報システム学を、産業界はいうまでもなく、学界、教育界、官界などにおける親学問として位置づけ、情報システム産業の発展に資する
- (4) 情報システムをIT(コンピュータシステム)を中心とした情報処理について説明している現状を変革する

書評：日経BPイノベーションICT研究所所長 桔梗原富夫様

「情報システムについて改めて本質を理解する。

情報システムの本質とあるべき姿を再考するのに一読をお薦めしたい。」

★新情報システム学序説 目次

序章 新情報システム学体系化の目的と基本的な考え方

第1部 情報と情報システムの概念

1. 情報とは何か
2. 人間の情報行動
3. 人間はどのように情報システムをつくってきたのか
4. 情報システム実現のための技術の発展
5. 現代の情報システム事例

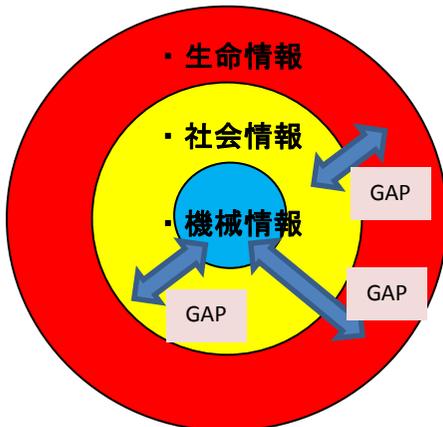
第2部 情報システムをどのようにつくっていくのか

6. 情報システムのライフサイクルと開発方法論
7. 情報システムに関係する組織
8. 情報システムの企画
9. プロジェクトマネジメント
10. 対象世界と組織活動のモデリング
11. 問題解決技術と要件定義
12. 情報システムの設計・実装・運用・保守

第3部 現代情報システムの課題

13. 情報システム問題のケーススタディ
14. 情報システムの利用と評価
15. 情報システムにおける倫理と法、情報セキュリティ
16. 情報システムの教育

★情報概念(西垣通の基礎情報学から)



- 機械情報に頼りすぎることへの警鐘
- 情報システムは、コンピュータ・システムとは無関係に存在
- 中心にいく程、情報(質・量)が捨象される
- ビッグデータでさえ機械情報にすぎない
- 本来認知すべきは、生命情報
- GAPの存在を認識することが必要